



2018年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2017年10月31日

上場会社名 山洋電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6516 URL http://www.sanyodenki.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役兼社長（氏名） 山本茂生
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理部門担当（氏名） 北村恵一 (TEL) (03) 5927-1020
 四半期報告書提出予定日 2017年11月10日 配当支払開始予定日 2017年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績（2017年4月1日～2017年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	42,241	17.9	3,873	61.1	3,994	106.2	2,900	111.3	2,900	111.3	5,123	—
2017年3月期第2四半期	35,818	—	2,403	—	1,936	—	1,372	—	1,372	—	358	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	237.19	—
2017年3月期第2四半期	111.95	—

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これにともない前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第2四半期	101,316	61,618	61,611	60.8	5,039.25
2017年3月期	93,156	57,054	57,048	61.2	4,665.35

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これにともない前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり親会社所有者帰属持分を算定しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2018年3月期	—	10.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これにともない2018年3月期配当金合計額につきましては、株式併合前の株式を対象とした第2四半期末配当金額と期末配当金額は基準となる1株が異なり、単純に合算できないため「—」として記載しています。

3. 2018年3月期の連結業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,900	17.5	8,500	57.0	8,600	61.3	6,100	51.3	498.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これにともない2018年3月期の通期の連結業績予想における基本的1株当たり当期利益につきましては、株式併合の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) , 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2018年3月期2Q	12,972,187株	2017年3月期	12,972,187株
② 期末自己株式数	2018年3月期2Q	745,842株	2017年3月期	744,166株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2018年3月期2Q	12,227,110株	2017年3月期2Q	12,261,117株

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これにともない前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式併合後の配当および業績予想について)

当社は、2017年6月14日開催の第115回定時株主総会において、株式併合、単元株式数の変更について、承認可決され、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を実施し、単元株式数を1,000株から100株に変更しています。これにともない2018年3月期の1株当たり期末配当金予想および通期の連結業績予想における基本的1株当たり当期利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しています。なお、2018年3月期第2四半期末の配当は、株式併合前の株式数に応じて支払われます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、輸出の回復に加えて国内需要も堅調に推移し、着実に回復しました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械、ロボット、半導体製造装置などの設備産業業界においては、需要が活発に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上収益は42,241百万円（前年同期比17.9%増）となり、連結営業利益は3,873百万円（前年同期比61.1%増）、連結税引前四半期利益は3,994百万円（前年同期比106.2%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,900百万円（前年同期比111.3%増）となりました。

受注高は48,598百万円（前年同期比33.3%増）、受注残高は20,994百万円（前年同期比67.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上収益は43,042百万円（前年同期比19.2%増）となり、セグメント利益は2,824百万円（前年同期比85.8%増）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC.があります。セグメント売上収益は5,147百万円（前年同期比2.5%増）となり、セグメント利益は298百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A.およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上収益は2,491百万円（前年同期比12.2%増）となり、セグメント利益は221百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD.、上海山洋電気技術有限公司、山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司および山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司があります。セグメント売上収益は8,012百万円（前年同期比38.9%増）となり、セグメント利益は360百万円（前年同四半期は3百万円）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC.、SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD.、SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITEDおよびSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD.があります。セグメント売上収益は11,006百万円（前年同期比36.9%増）となり、セグメント利益は387百万円（前年同期比123.0%増）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クリーニングシステム事業

クリーニングシステム製品「San Ace」は、サーボアンプ向けの需要や、工作機械および半導体製造装置などのFA向けの需要が増加しました。また、データセンタ用サーバ向けの需要も堅調でした。一方、国内の太陽光発電用パワーコンディショナ向けの需要は減少しました。

その結果、売上収益は12,121百万円(前年同期比10.6%増)、受注高12,226百万円(前年同期比14.2%増)、受注残高3,686百万円(前年同期比25.1%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、太陽光発電の固定価格買取制度市場の縮小により、パワーコンディショナの需要が低迷しました。一方、半導体製造装置などFA機器向けの無停電電源装置の需要は堅調に推移しました。

その結果、売上収益は3,318百万円(前年同期比14.4%減)、受注高3,883百万円(前年同期比15.8%減)、受注残高2,747百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、主要業界である工作機械、ロボット、射出成形機、半導体製造装置および電子部品実装機向けの需要が増加しました。特に工作機械および電子部品実装機向けの需要は、中国向けスマートフォンの設備投資が活発となり、前年同期と比較して大幅に増加しました。

その結果、売上収益は23,800百万円(前年同期比40.0%増)、受注高29,802百万円(前年同期比70.0%増)、受注残高13,663百万円(前年同期比151.6%増)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、ロボット、工作機械関連市場向けの一般産業機器および半導体関連向けの需要は堅調に推移しましたが、太陽光発電関連機器の需要は大幅に減少しました。

鉄鋼関連事業においては、新規設備投資および老朽化した生産設備の更新が増加し、補修用予備品の納入は堅調に推移しました。

その結果、売上収益は1,949百万円(前年同期比28.6%減)、受注高1,851百万円(前年同期比26.3%減)、受注残高398百万円(前年同期比30.9%減)となりました。

⑤電気工事事業

製鉄所内における工場設備の改修工事および補修工事は、計画どおり実施されましたが、太陽光発電設備関連工事の需要は大きく減少しました。

その結果、売上収益は1,052百万円(前年同期比16.3%減)、受注高833百万円(前年同期比23.1%減)、受注残高497百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産合計は8,160百万円の増加、負債合計は3,596百万円の増加、資本合計は4,564百万円の増加となりました。

資産の主な変動要因は、棚卸資産の増加3,382百万円、その他の金融資産(非流動資産)の増加1,769百万円、有形固定資産の増加1,576百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、営業債務及びその他の債務の増加4,135百万円、退職給付に係る負債の減少928百万円、繰延税金負債の増加410百万円によるものです。

資本の主な変動要因は、利益剰余金の増加3,218百万円、その他の資本の構成要素の増加1,354百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、13,673百万円となり、前連結会計年度末より93百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、3,162百万円(前年同期間は3,708百万円の増加)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額4,148百万円、営業債務及びその他の債務の増加額4,074百万円、税引前四半期利益3,994百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、2,593百万円(前年同期間は1,261百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,690百万円、無形資産の取得による支出443百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は、936百万円(前年同期間は1,701百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額549百万円、長期借入金の返済による支出169百万円、短期借入金の純減額136百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の業績予想につきましては、2017年10月30日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		13,766	13,673
営業債権及びその他の債権		26,967	28,278
その他の金融資産		924	880
棚卸資産		16,233	19,615
その他の流動資産		250	536
流動資産合計		58,143	62,984
非流動資産			
有形固定資産		18,916	20,493
無形資産		3,850	3,804
投資不動産		1,503	1,503
その他の金融資産		9,823	11,593
繰延税金資産		413	441
その他の非流動資産		504	495
非流動資産合計		35,012	38,332
資産合計		93,156	101,316
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		18,876	23,012
借入金		7,033	6,870
その他の金融負債		322	272
未払法人所得税等		1,111	1,291
その他の流動負債		1,266	1,491
流動負債合計		28,610	32,938
非流動負債			
借入金		159	25
その他の金融負債		180	109
退職給付に係る負債		6,954	6,025
繰延税金負債		3	413
その他の非流動負債		194	184
非流動負債合計		7,491	6,759
負債合計		36,101	39,698
資本			
資本金		9,926	9,926
資本剰余金		11,460	11,460
利益剰余金		35,526	38,745
自己株式		△1,436	△1,445
その他の資本の構成要素		1,570	2,924
親会社の所有者に帰属する持分合計		57,048	61,611
非支配持分		6	7
資本合計		57,054	61,618
負債及び資本合計		93,156	101,316

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上収益		35,818	42,241
売上原価		27,463	31,307
売上総利益		8,355	10,934
販売費及び一般管理費		6,058	7,131
その他の収益		111	77
その他の費用		5	7
営業利益		2,403	3,873
金融収益		91	132
金融費用		558	11
税引前四半期利益		1,936	3,994
法人所得税費用		564	1,093
四半期利益		1,372	2,900
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		1,372	2,900
非支配持分		0	0
四半期利益		1,372	2,900
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		111.95	237.19

※ 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これにともない前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益を算定しています。

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)
売上収益		17,923	21,760
売上原価		13,709	16,107
売上総利益		4,213	5,653
販売費及び一般管理費		2,915	3,608
その他の収益		58	37
その他の費用		3	3
営業利益		1,353	2,079
金融収益		8	14
金融費用		160	4
税引前四半期利益		1,201	2,089
法人所得税費用		396	662
四半期利益		804	1,426
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		804	1,426
非支配持分		0	0
四半期利益		804	1,426
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		65.80	116.66

※ 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これにともない前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益を算定しています。

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益		1,372	2,900
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		746	1,221
確定給付制度の再測定		△272	652
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△1,488	349
その他の包括利益合計		△1,014	2,223
四半期包括利益		358	5,123
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		358	5,123
非支配持分		△0	0
四半期包括利益		358	5,123

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益		804	1,426
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		371	391
確定給付制度の再測定		147	296
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△187	220
その他の包括利益合計		331	908
四半期包括利益		1,136	2,334
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		1,136	2,334
非支配持分		0	0
四半期包括利益		1,136	2,334

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2016年4月1日残高		9,926	11,460	32,691	△919	1,232	—
四半期利益		—	—	1,372	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	746	△272
四半期包括利益		—	—	1,372	—	746	△272
自己株式の取得		—	—	—	△512	—	—
剰余金の配当		—	—	△558	—	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	△275	—	3	272
所有者との取引額等合計		—	—	△834	△512	3	272
2016年9月30日残高		9,926	11,460	33,229	△1,432	1,982	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2016年4月1日残高		△977	254	53,414	6	53,420
四半期利益		—	—	1,372	0	1,372
その他の包括利益		△1,487	△1,013	△1,013	△0	△1,014
四半期包括利益		△1,487	△1,013	358	△0	358
自己株式の取得		—	—	△512	—	△512
剰余金の配当		—	—	△558	△0	△559
利益剰余金へ振替		—	275	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	275	△1,071	△0	△1,071
2016年9月30日残高		△2,465	△483	52,701	5	52,707

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2017年4月1日残高		9,926	11,460	35,526	△1,436	2,789	—
四半期利益		—	—	2,900	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	1,221	652
四半期包括利益		—	—	2,900	—	1,221	652
自己株式の取得		—	—	—	△9	—	—
剰余金の配当		—	—	△550	—	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	868	—	△216	△652
所有者との取引額等合計		—	—	318	△9	△216	△652
2017年9月30日残高		9,926	11,460	38,745	△1,445	3,794	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2017年4月1日残高		△1,219	1,570	57,048	6	57,054
四半期利益		—	—	2,900	0	2,900
その他の包括利益		349	2,222	2,222	0	2,223
四半期包括利益		349	2,222	5,123	0	5,123
自己株式の取得		—	—	△9	—	△9
剰余金の配当		—	—	△550	△0	△550
利益剰余金へ振替		—	△868	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△868	△559	△0	△559
2017年9月30日残高		△869	2,924	61,611	7	61,618

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益		1,936	3,994
減価償却費及び償却費		1,574	1,650
受取利息及び受取配当金		△91	△122
支払利息		17	7
営業債権及びその他の債権 の増減額(△は増加)		1,173	△1,146
棚卸資産の増減額(△は増加)		631	△4,148
営業債務及びその他の債務 の増減額(△は減少)		△1,379	4,074
その他		△160	△106
小計		3,702	4,203
利息の受取額		14	24
配当金の受取額		78	96
利息の支払額		△21	△9
法人所得税等の支払額		△67	△1,152
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,708	3,162
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△606	△1,690
無形資産の取得による支出		△434	△443
有形固定資産及び無形資産 の売却による収入		2	0
その他の金融資産の売却による収入		4	12
その他		△227	△470
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,261	△2,593
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		△116	△136
長期借入金の返済による支出		△432	△169
自己株式の取得による支出		△512	△9
配当金の支払額		△554	△549
その他		△85	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,701	△936
現金及び現金同等物に係る換算差額		△751	273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△6	△93
現金及び現金同等物の期首残高		12,743	13,766
現金及び現金同等物の四半期末残高		12,737	13,673

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主に冷却ファン、電源機器、サーボモータを生産、販売しており、地域性を重視した戦略を立案し、グローバルに事業を展開しています。

報告セグメントは、事業展開する経済圏等の地域特性から、日本、北米、ヨーロッパ、東アジア、東南アジアの5つを報告セグメントとしています。なお、当該報告セグメントの決定に当たって、事業セグメントの集約は行っていません。

2 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計	調整額 (注2)	連結
売上収益								
外部顧客への 売上収益	24,062	4,999	2,215	3,947	593	35,818	—	35,818
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	12,047	24	4	1,822	7,447	21,347	△21,347	—
計	36,109	5,024	2,220	5,770	8,041	57,166	△21,347	35,818
セグメント利益	1,519	421	178	3	173	2,296	106	2,403
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	91
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	558
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	1,936

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。
2. セグメント利益の調整額106百万円は、セグメント間取引消去です。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計	調整額 (注2)	連結
売上収益								
外部顧客への 売上収益	28,791	5,109	2,479	5,264	595	42,241	—	42,241
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	14,251	38	12	2,747	10,411	27,460	△27,460	—
計	43,042	5,147	2,491	8,012	11,006	69,701	△27,460	42,241
セグメント利益	2,824	298	221	360	387	4,092	△218	3,873
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	132
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	11
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	3,994

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。
2. セグメント利益の調整額△218百万円は、セグメント間取引消去です。

前第2四半期連結会計期間(自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注2)	連結
	日本	北米	ヨーロ ッ パ	東アジア	東南 アジア	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	12,330	2,451	1,056	1,806	278	17,923	—	17,923	
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	5,930	15	2	850	3,752	10,550	△10,550	—	
計	18,261	2,466	1,059	2,656	4,030	28,473	△10,550	17,923	
セグメント利益または 損失(△)	1,023	215	98	△37	60	1,360	△6	1,353	
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	8	
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	160	
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	1,201	

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去です。

当第2四半期連結会計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注2)	連結
	日本	北米	ヨーロ ッ パ	東アジア	東南 アジア	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	15,087	2,342	1,266	2,736	327	21,760	—	21,760	
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	7,387	9	6	1,158	5,489	14,052	△14,052	—	
計	22,474	2,351	1,273	3,895	5,817	35,813	△14,052	21,760	
セグメント利益	1,501	80	141	213	332	2,268	△189	2,079	
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	14	
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	4	
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	2,089	

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額△189百万円は、セグメント間取引消去です。